



そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきを入れて、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ 7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団  
ろう者伝道部

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20  
TEL. 03-3918-5935  
発行者 井桁正巳  
編集者 五島靖子

## 「御霊による祈り」

聖書めぐみキリスト教会 牧師

武藤 信夫

すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によつて祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、また祈りなさい。(エペソ六章十八節)

この御言葉は今年のろう者聖会のテーマ聖句でした。「祈り」は離れていても祈りによつて結ばれ、全ての障害を乗り越える力があります。イエス様の御名によつての祈りは悪魔を打撃します。

エペソ六章十二節に、「私たちの格闘」とあるように、祈りは共同の戦いです。エペソ六章十八節では「すべての聖徒のために：：祈りなさい」とあるように、自分だけではなく相手のためにも祈る生活が大切です。また、十九節〜二十節によれば「祈り、祈られる」この祈りの共同戦いが必要です。霊的戦いは、私たちが一人で勝てる簡単なものではありません。祈られなくて信仰をもった人はいません。誰かがあなたのため祈っていたおかげで信仰を持ったはずです。御霊による祈りによつて勝ち得ましょう。その為に三つのポイントがあります。



### ポイント① 戦うクリスチャン

私たちの信仰生活は悪魔との戦い抜きにはあり得ません。イエス様は悪魔からの誘惑に勝利され、私たちに模範を示されました。エペソ六章十四節の「立ち」とは「身構えていなさい」という意味があります。私たちはボクとしていてはダメ。戦うという意識が必要です。

### ポイント② 戦いの相手

エペソ六章十二節では、私たちの戦いの相手、黒幕は悪魔であり、悪霊に対するものであると告げています。私たちは信仰を守るためにもきちんと

武装しなければなりません。悪魔は私たちと神との間を離す者です。元々「悪魔」とは「ダイヤボロス(原文)」で、切り離すという意味があります。

### ポイント③ 戦いの方法

エペソ六章十節 血肉ならば、知恵・力の差で勝ち負けがあるでしょう。しかし相手は悪魔。人の力では限界があります。だから私たちは神の全能の力によつて強められる必要があるのです。エペソ六章十一節〜十三節では、神のすべての武器を取ることを説いており、具体的な神の武器は十四節〜十七節に取り上げられています。

① **真理の帯(十四節)** 帯は腰に力を与えます。重量挙げの選手は必ずベルトを巻きます。そのことによつて力を発揮出来るからです。私たちも、真理に従えば力が与えられます。  
② **正義の胸当て(十四節)** 胸は心臓があります。それを守るのは、神の正義です。自分が正しいと主張するのでなく、神が正しいと認めて下さる。私たちは神の義によつて、心が守られるのです。

③ **平和の靴(十五節)** 靴は歩き回るのに必要です。靴なしでは戦えません。

④ **信仰の大楯(十六節)** ローマ兵は大楯で火矢を防ぎました。信じるという信仰が私たちを守るのです。

⑤ **救いのかぶと(十七節)** 兜は頭を守ります。私たちの頭を守るのは救いです。十字架で罪赦された、それが一番大切です。

⑥ **御霊の剣(十七節)** 神の武器の中で唯一の攻撃部分は、御霊の剣です。イエス様は悪魔に試みられた時、御言葉によつて勝利されました。私たちも神の武器である御言葉によつて悪魔に勝利し、希望を持つて生きる者とさせて頂きましょう。

## 全国ろう者聖会 報告

八月一三日(月)～十五日(火)まで、新大阪東急REIホテルにて、聖書めぐみキリスト教会の武藤信夫師を講師に、全国ろう者聖会が開催されました。二四教会、百六十名の参加でした。聖会二日目の午後からは、ろう者聖書学校の入学式がありました。現在、新入生二名、在校生六名です。閉会時には、信徒聖書学校の一名の修了式も行われました。この九名のために、お祈りしていきましよう!

### ●ろう者聖書学校

新入生

大森たかみ(四万十)

金井扶美代(小岩)

二年生

新井哲也(熊谷)

加藤雅美(名古屋)

中村崇(小岩)

古川公子(阿南)

水島宣子(岡山)

三年生

古川忠志(阿南)

### ●信徒聖書学校修了

平林昭(明石)



ろう者劇団 パウロの回心

### 献身の証

入学に際して

#### 金井扶美代

(小岩栄光キリスト教会)

ハレルヤ! 主の御名をほめたたえ、賛美致します。神学校入学を決心したのは、平成二八年の断食聖会の時に与えられた御言葉カードでした。それはマタイ十六章二四節でしたが、私は献身を延ばしてしまいました。平成二九年七月二六日に、郵便局の帰りに段差があるのを忘れて踏み外した拍子に、右足で強く踏ん張ってしまったのです。左側のバリアフリーの手すりにぶつかり、一瞬、息が止まり死

ぬかと思いました。痛みがひどく「主よ。献身を延ばしたのを許して下さい。神学校へ行きませ。」と声なき声で叫びました。夜は寝ても座っても痛くて眠れませんでした。レントゲンで「左脇打撲」と診断されたが、幸いにも骨にひびはなく、胃が右方に曲がっていました。しばらくは左首を動かすとポキポキ音がして、痛みがあったのに、いつの間にか痛みはなくなっていました。癒されたので主に感謝します。ハレルヤ! 神学校入学式の時、郡先生の「ヨナ」の御言葉を聞いて反省させられました。体験を通して福音を伝えられるよう、もっと学びたいと決心した次第です。遠回りしましたが、すべてを、感謝すると共に、主にお委ね致します。

### 証のコーナー

#### ゴスペルフラの恵み

##### 水島 宣子(岡山神召基督教会)

私がゴスペルフラを始めた理由は、「適度な運動になるし、健康に良さそう」と思ったからです。実は私は、二十代の時、

六年間もうつ病を患っていて、働く事も友達に会う事も出来ず、礼拝も休む事が多く、とても辛く苦しい時期がありました。そんな時、内川節子先生が「教会でゴスペルフラを始めるから、一緒にやろう」と誘って下さいました。節子先生は、音の聞こえないろう者にも賛美を楽しんで欲しい、身体全体を使って踊る事で神様をほめたたえる喜びを、ろう者にも味わって欲しいと、教会でゴスペルフラ教室を始められたばかりでした。

その時の私は、症状が一番重く辛い時期でもあり、元々あまり運動神経が良くないので、下手な踊りで皆に笑われるのは嫌だなという気持ちもありました。しかし、節子先生も含めて、メンバー全員がゴスペルフラ初心者だったので、「みんなと一緒に少しずつ上達出来るのなら構わないかな」と思って、体調の良い時に少しずつ参加するようになりました。

私にとって、ゴスペルフラを踊る時間はとても楽しくて、嫌いな事も辛い気持ちも忘れる事が

出来ました。身体を動かす事で、筋肉だけでなく心もほぐれていくように感じました。何よりも、神様を褒めたたえる賛美をフラダンスの振り付けで踊るので、踊りながら、賛美の歌詞をひとつひとつじっくり味わう事が出来ます。普通に口だけ、手話だけで賛美をする時よりも更に、心を込めて神様をほめたたえる事が出来る気がします。運動のためにと思つて始めたゴスペルフラですが、フラのレッスンを通して、私が神様を見上げる事が出来るように、気持ちが沈んでいる時にも少しでも明るい気持ちになり、元気が出るように、神様が導いてくださっていたのだと思います。

幸い、三十歳の時にうつ病は癒され、今はすっかり元気になって、ろう者聖書学校で学ぶ事が出来ている事を、心から神様に感謝します。入学してからは、全国ろう者聖会で岡山が特別賛美をする時に、フラを取り入れたり、今年は二日目の夜の交流会でフラを踊る機会も与えられ、本当に感謝しています。フラを

踊る事は、私にとって神様から与えられた賜物の一つであり、恵みだと思つていきます。今後は、自分の楽しみのためだけではなく、フラを踊る事は奉仕の一つと考え、自分の踊りを見て下さった方が一人でも聖書の神様の事を知る事が出来るように、また踊りを通して、神様の愛を伝える事が出来るように、祈りながら踊りたいと思います。踊りの技術もますます上達できるよりに頑張ろうと思つていきます。

私は人工内耳を付けて少し音楽が聞こえるので、全ての曲をリズムに合わせて元気一杯踊つてしまふのですが、先生から、穏やかな曲の時には、少し動きが遅れても構わないからゆったりと踊るように、注意されます。逆にリズムの速い曲では、迫力を出すために、顔の向きや身体の使い方、目線なども気をつけてと言われます。指先まで神経を使つて、伝えたい内容が観客にきちんと言われ、伝わるかどうか



考えながら、丁寧に踊るように指導されます。それらの注意を聞いていると、ゴスペルフラで大切な事は、手話をする時に大切な要素にも似ているような気がします。本當にろう者の方々こそ、フラを踊るのに向いていると感じます。もっとたくさんの方々に、フラを知って頂き、一緒に踊れるようになって、良いなと思います。

これからもゴスペルフラを通して、神様の愛、神様の素晴らしさを、一人でも多くの方に証して行きたいと思つていきます。

### 出会は神様からの計画

三好 公雄(堺キリスト教会)

私たちは、与えられた恵みに従つて、異なつた賜物を持つている

ローマ十二章六節

私は三人兄弟の末っ子として生まれましたが、私だけ話せないため、いつもひとりぼっちでした。このさびしさのかわりに色々なものを相手にするようになり、よく道端を歩きながら落ちてくるものを見つけては拾つてポケットへパンパンになるほ

ど入れて家に帰つたら、母に「うわー汚い！」とよく激怒されました。それでも諦めず、身近にある色々な動くおもちゃの中身の仕組みも知りたくなり、無理に分解して中を見ては「なるほど」といじる事を繰り返したおかげで、色々な仕組みが分かるようになりました。小学高学年の頃、一つ上の次男が持つて来た燃料で回るエンジン模型飛行機を、初めて目にして、興奮しました。これは、私にとって素晴らしい出会いだったので、この模型飛行機に一日中没頭して、いじっていたら、さびしさは吹っ飛び、気が改まりました。次第に模型に興味を持ち始め、ラジコン飛行機、車、ボート、ヘリコプター、ドローンなどへエスカレートし、それらの製作、操縦、調整、修理、塗装などの技術をマスターしていきました。この技術を生かして、家電品の修理、屋根修



理、オートバイのエンジン修理、車の配線加工、また教会内での電源追加、照明センサーや防犯の配線工事にまで、広がっていききました。このような、神から素晴らしい賜物を与えられた事に感謝しています。また、今年の全国ろう者聖会の横断幕を作成できたことも感謝です。

あの幻の模型飛行機との出会いは、私の人生を変えました。その機会を与えて下さった神の御計画に感謝します。もしあの兄による出会いがなければ、私は何もできないただの素人になっただけです。



それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

### 一ペテロ四章十節

皆さんも、神様から賜物を与えられていますからそれを生かして奉仕しましょう！アーメン！

## 「シャローム！」 梶 桂子 (徳島神召キリスト教会)

ハレルヤ！主の御名を賛美します。

2017年12月17日(日)午前8時17分、私の主人が天に召されました。2017年7月31日、病院で十二指腸乳頭部癌と申告され、その時には、肺、リンパ節など体中に転移して手術もできない状況でした。入院を繰り返しながら、140日の闘病生活でした。最初に入院したとき「退院したら何がしたい？」と聞くと、主人は「釣りに行きたい、けど無理かな。」と言いました。そして、退院後、子ども達と相談して、よく行っていた鳴門ウチノ海の筏釣りに行くことにしました。ポータブルの呼吸器をつけたままで、長い時間はいられませんでした。本当に澄んだ青空の下、また気持ちのいい海の上で、きれいな景色を見ながら、主に賛美し、初めて家族四人で釣りをしました。



結果は・・・主人は一匹も釣れず、初体験の私だけが、小さいさよりを六匹ぐらい釣りました。翌日、主人がさばいて、干してくれました。病気の事を忘れ、主の恵みの中で守られ、主人もとても嬉しそうでした。私達家族の良い思い出となりました。

そしてまた入院、腹水がたまりだし、だんだんひどい状態になってきました。そんな時、主人が突然「賛美を作った！幸枝先生に曲をつけてもらおう。」と言い、びっくりしました。昔から主人が好きだった言葉です。シャローム！主の平安があるように!!と。最後の夜、病院で私は一晩中、主人の手を握っていました。夜中も何回か、目をあけて

私の顔を見ていました。うわごとで何を言っているか分かりませんでした。「ハレルヤ！」だけは読み取れました。

12月17日の朝、主人は目を覚まして、「おなかが空いた。」と言いました。その後少し体を起こして、私と手をつないでいました。両手を少し引っ張ると、「主よー。感謝します！」だんだん、主人の声が弱くなり手を離しそうになりました。私も「主よ！もう主人をみもとへ行かせて下さい。」と叫びました。するとその瞬間、主人は穏やかに笑いながら召されました。その顔は本当に平安に満ちていました。主人は自分で作った賛美そのままに、最後まで周りの人を気遣い、「シャローム！主の平安があるように!!」と願っていました。今は大好きなイエス様のところへ「よくやった。よい忠実なしもべよ。」とほめられて、いつもの笑顔で穏やかにいるのではないのでしょうか。

これから私は一人になる不安もありましたが、子ども達に助けられ、また多くの兄弟姉妹に祈られ支えられています。

みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。 第2テモテ4:2

### ♪シャローム 主の平安が♪

シャローム シャローム 主の平安が  
 シャローム シャローム あなたにある  
 シャローム シャローム 離れない  
 主イエスの平安が あなたにある 涙をふいて  
 今立ち上がろう 主イエスが共におられるから  
 涙をふいて 今立ち上がろう 新しい希望信じて